

施策事例 ② 産業振興関連施策

ステンレス産業クラスター形成による産業振興

自治体情報 岡山県津山市

人口 / 106,140人 標準財政規模 / 27,921百万円

担当課 事務局
電話番号 直通 0868-24-0740
実施主体 つやま新産業創出機構
関連ホームページ <http://www.t-shinsan.com/>

事業期間 平成8年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：21,785千円

名称	所管	金額(千円)
機構補助金	津山市	13,948
会員負担金	会員	1,275
ふるさと雇用再生事業補助金	岡山県	3,142
その他		3,393

施策のポイント

大きな学・大きな産の存在しない地域での産業振興施策として、限られた資源(人、モノ、金)を有効に活用するため、地域の産業の中で強みのある分野を選択し、集中して支援している。

1 取組に至る背景・目的

バブル経済の崩壊により、従来の企業誘致主導型の工業振興施策の転換を迫られる中、平成7年、津山地域産業育成ビジョンが策定され、内発型産業振興に力を注ぐこととなった。昭和40年代から集積の進んだステンレス加工業は、特化度・発展性等が高く評価された結果、津山地域のリーディング産業として選択され、集中して支援する体制を整えた。

2 取組の具体的内容

津山市と津山商工会議所が連携しながら、行政とは立ち位置の異なる「つやま新産業創出機構」を設立(H8)し、ステンレス産業のクラスターの取組みに着手した。まず、「津山ステンレスネッ

ト」を結成(H9)し、機械加工、板金、溶接など得意分野の異なる企業による共同受注や商談会・展示会への出展を通じた販路開拓に取り組んだ。さらに津山ステンレスネット8社、ステンレス製品メーカー2社、津山高専、岡山県工業技術センター等を加えた「津山ステンレスクラスター(現21社)」を結成(H19)し、津山高専及び会員企業の設備利用や講師陣による若手技術者の技術教育(機械加工、板金、溶接、CAD)に取り組むほか、若手経営者や次期後継者の勉強会等を実施し、会員企業の経営力向上の支援を実施している。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

具体的な数値目標は設けていないが、自立し



機械要素技術展(東京ビッグサイト)への出展



管理技術者教育



溶接技術教育風景



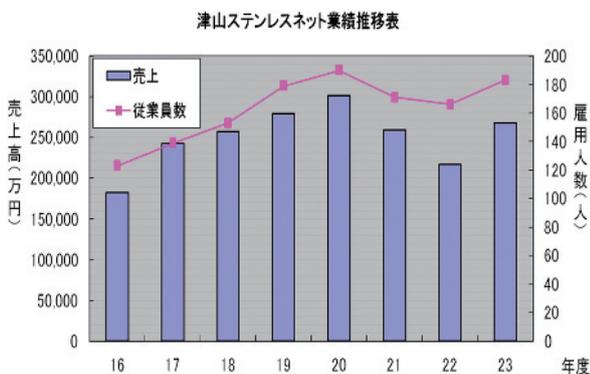
津山ロボコンへの参加

た地域の創造に寄与することを目標としている。リーディング産業を支援し企業の経営力を向上させることで、雇用の創出や税収の確保、さらには地域産業への波及が期待できる。

4 現在までの実績・成果

津山ステンレスネット再編（H16）以降、売上高・雇用数ともに右肩上がり続けた。リーマンショック後、一時、売上がダウンしたが、平成23年度にはリーマンショック前に近い水準まで回復し、今年度（H24）も順調に推移している。（別表参照）

別表



5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

ある特定の産業（ステンレス産業）をリーディング産業に指定し、集中して支援することに対する経済界の同意を得ることや、協働して取り組むために各企業の方向性をリードすることに苦心した。ビジネス経験が豊富で企業を育成指導できる手腕を持ち、献身的に郷土の産業振興に当たることのできる有能なアドバイザーを迎え、協力して進める中で成果を得ている。

6 今後の課題と展開

世界経済の減速とともにステンレス加工需要の減少が懸念される中、高い技術力を保持し、顧客ニーズに対応する能力を高めていく必要が常にある。そのためには、若手経営者・次期後継者の意識改革と、それを支える技術者の人材育成が急務である。